

Nisri

(財) 名古屋産業科学研究所
Nagoya Industrial Science Research Institute

産業科学フォーラム

日 時 : 平成23年1月18日(火) 14時から
場 所 : 名大 VBL棟(3階) ミーティングルーム
講演者 : 山根 隆 上席研究員(名大名誉教授)

テーマ：蛋白質の構造から機能を探る

ヒトの体の設計図ともいえる遺伝情報は、およそ三十億対の核酸塩基の配列を含んでいるが、遺伝子が必ずしも形態や能力の大きな違いを決めているとは言えない。実際、高等動物では遺伝子配列に基づき転写、翻訳の過程を経て合成されたタンパク質が直接機能を発揮することはまれで、翻訳後修飾を受けることで生理機能を大きく変化させている。薬のターゲットは主にタンパク質であるが、ラットでの実験結果がヒトには簡単に適用できない理由の一つが、この翻訳後修飾の違いである。

今回は、翻訳後修飾の例として細胞内タンパク質分解について紹介する。細胞内でタンパク質分解が闇雲に起こると、病気の原因や生命維持活動の破綻の原因となる。不要となったタンパク質を認識し、適切な時期に分解・リサイクルさせるのにも、翻訳後修飾が重要な役割を果たしている。

* 参加いただける方は、事前に下記まで連絡願います

財団法人 名古屋産業科学研究所
研究部 E-mail: dor@nisri.jp

会場へのアクヤス

地下鉄名城線 名古屋大学

3番出口 徒歩3分

<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>

